

会長の時間 第 19 回 今後 10 年間の計画と SDGs

日出ロータリークラブ

会長 加賀山 茂

はじめに

これまでの会長の時間で、私は、ロータリークラブの基本的な理念について、「四つのテスト」の意味 (第 1 回)、「ロータリーの目的」の意味 (第 2 回)、「五大奉仕部門」(第 3 回)、「公平とは何か」について、タクシーの相乗りの場合の料金の公平な負担について検討させていただき (第 5 回)、「微笑みを微笑みで返す」とか「いただいたら、お返しする」とかという共感の抱える「やられたら、やり返す」というジレンマ (第 6 回)、偽りの親睦と四つのテストの関係 (第 7 回)、新型コロナウイルス感染症対策 (第 8 回)、善行とは何か (第 9 回)、善行褒章とその基準 (第 10 回)、善行褒章基準の日独比較 (第 11 回)、子ども食堂 (第 12 回)、地方創生 (第 13 回)、コロナ禍における国民の三大義務の支援 (第 14 回)、機会の三つの扉の応用 (第 15 回)、前期の反省と後期の抱負 (第 16 回)、今年度後期の抱負と提案 (第 17 回) では、Web 例会の可能性について話し、前回には、日出ロータリークラブが、近隣のクラブに先駆けて対面とリモートを併用したハイブリッド例会を実現した意義について話しました (第 18 回)。



そして、いずれの回においても、本年度の RI 会長 (Holger Knaack 氏) のテーマである「ロータリーは機会の扉を開く」を活用させていただき、3 つの扉の色に即して、**赤い扉**は、「親睦 (和らぎ睦び)」として、**黄色の扉**は、「職業倫理の向上」として、**青の扉**は、「次世代への奉仕活動の実践」として整理させていただきました。

今回は、日出町長から外来卓話をいただきますので、コロナ時代の世界共通の目標としての SDGs (持続可能な開発目標) について、日出町との関係において話したいと思います。

1. 国連で採択された SDGs (持続的な開発目標) とは何か

(1) SDGs (持続的な開発目標) の趣旨

国連の加盟国 (193 か国) すべてが合意し、2030 年までの今後 10 年間の全世界の到達目標と認めた SDGs (持続的な開発目標) ですが、そのゴールは 17 もあって、理解が困難に見えます。しかし、私たちがよく知っている近江商人の職業倫理として名高い「三方よし (売り手・買い手・世間よし)」の一つを付け加えて、「四方よし (売り手・買い手・世間・未来よし)」を実現するものだと考えると理解が容易となります (蟹江憲史『SDGs (持続可能な開発目標)』中公新書 (2020/8/20) 129-130 頁)。「みらい信金」の支店長、よく聞いてくださいね。

(2) 将来世代のことを思いやる

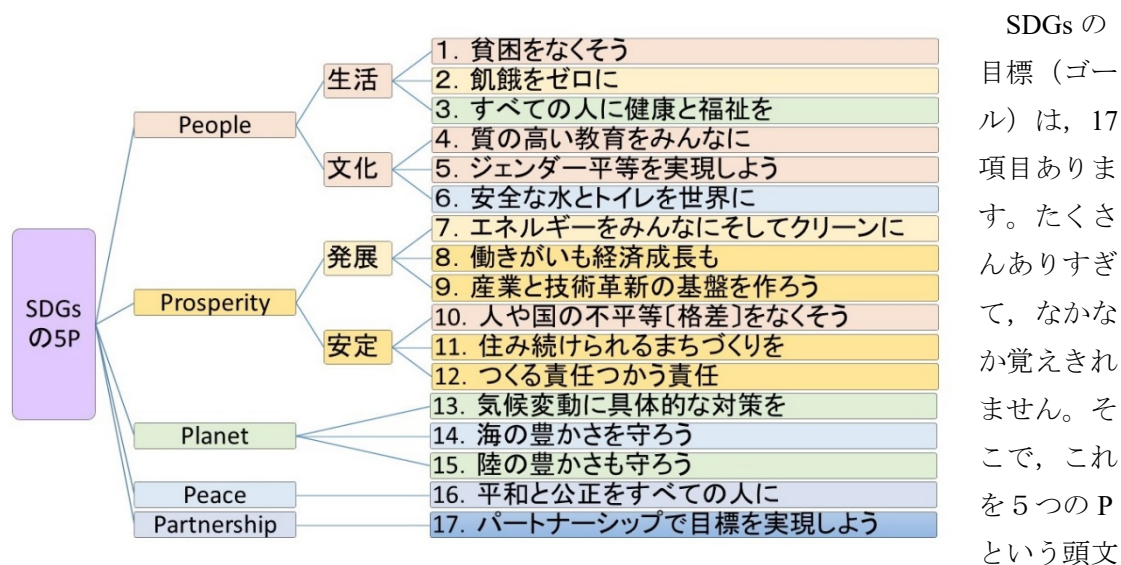
要するに、SDGs の主眼は、目先の利益に目を奪われて、**次世代の未来を台無しにすることがないように未来のことを考えて行動しましょう**ということです。なぜなら、現在の人類の社会・経済活動による消費や環境負荷は、**地球 1.69 個分**に達しており、このままでは、人類が地球を食いつぶし、持続不可能な社会となってしまうからです (**アメリカは、地球 4.97 個分**の資源消費を行っており、**日本も、地球 2.76 個分**の資源消費をおこなっています)。

そこで、私たちの職業倫理に「未来よし」を付け加え、1970 年の社会のように、地球一個分の社会・経済活動に抑えようというのが、SDGs (持続的な開発目標) のねらいです (蟹江憲史『SDGs (持続可能な開発目標)』中公新書 (2020/8/20) 117-120 頁)。

つまり、SDGs (持続的な開発目標) における「持続可能な開発」とは、「**将来世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在のニーズを満たすような開発**」のことです。

(3) SDGs の 17 のゴールの構造

したがって、SDGs (持続的な開発目標) の趣旨をもう少し具体的に記述すると、「SDGs は、**地球の限界を超えない範囲に収まるよう、貧困を終わらせ、誰もが尊厳があり平等に機会が得られるような人生を送ることができるよう、政府、企業および市民社会に対して、全世界的な行動を要請**」するもののだといえます。



(People (人間), Prosperity (繁栄), Planet (地球), Peace (平和), Partnership (パートナーシップ)) を使って、整理すると、分かりやすくなります。

2. 日出町での SDGs の実践のための提言

SDGs (持続的な開発目標) の特色は、全世界に共通の発展目標を示した点にあります。そのような壮大な目標とともに、SDGs は、「**一人も取り残されない**」というスローガンを掲げているところに特色があります。

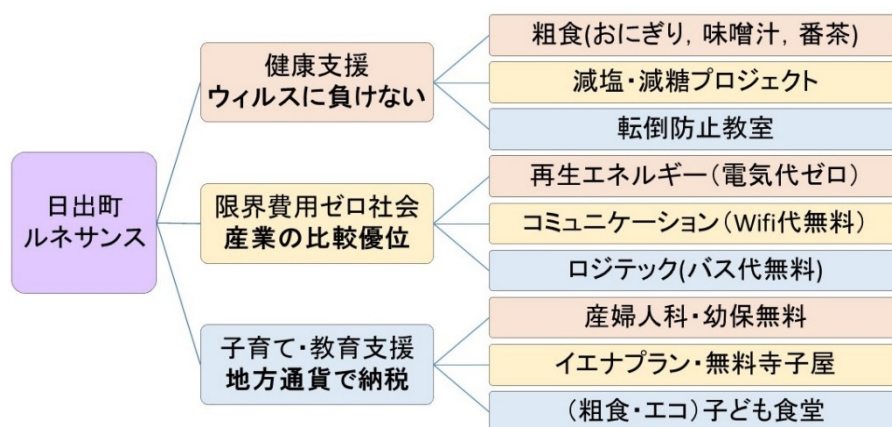
(1) 社会的弱者への思いやり

従来の発展目標は、全体の水準を引き上げるとか、トップを目指すとか、とにかく、全体に目を奪われ、弱者や底辺にいる人々を無視しがちでした。しかし、SDGs の第 1 ゴールが、「**貧困をなくそう**」(あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる)、第 2 ゴールが、「**飢餓をゼロに**」(飢餓を終わらせ、食料安定保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する)、第 3 ゴールが、「**すべての人に健康と福祉を**」(あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する)、第 4 ゴールが「**質の高い教育をみんなに**」(すべての人に包摂的かつ公平な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する)、第 5 ゴールが、「**ジェンダー平等を実現しよう**」(ジェンダーの平等を達成し、すべての女性および女の子の能力強化を行う) というように、「一人も取り残されない」ように、すべての弱者の尊厳を取り戻すことに重点が置かれています。

(2) 日出ロータリークラブが SDGs の視点から、日出町に協力できること

日出町においても、このような視点から、項目を「**健康支援**」, 「**限界費用ゼロ社会への接近**」, 「**子育て支援**」に絞り込んで、若い世代が押し寄せるような町づくりを進めていくべきではないかと考えています。

日出ロータリークラブも、そのような社会の実現を目指して、日出町と協力をしていきたいと考えています。



3. 参考文献

(1) SDGs (持続的開発目標)

- ・落合陽一『2030年の世界地図帳ーあたらしい経済とSDGs, 未来への展望ー』SBクリエイティブ (2019/11/22)
- ・蟹江憲史『SDGs (持続可能な開発目標)』中公新書 (2020/8/20)
- ・南博=稲場雅紀『SDGsー危機の時代の羅針盤』岩波新書 (2020/11/20)

(2) 人間の尊厳

- ・ドナ・ヒックス (ノ・ジェス (監修), ワークス叔悦 (訳)) 『Dignity デイグニティ』幻冬舎

・大川繁子『92 歳の現役保育士が伝えたい親子で幸せになる子育て』実務教育出版 (2019/9/11)

(3) 子どもの食事・子ども食堂の献立

・幕内秀夫『子どもをじょうぶにする食事は、時間も手間もかからない』ブックマン社 (2019/10/10)

(4) イエナプラン教育

・リヒテルズ直子 (監修・出演)『明日の学校に向かってーオランダ・イエナプラン教育に学ぶー』グローバル教育情報センター (2015)

・リヒテルズ直子『今こそ日本の学校に！イエナプラン実践ガイドブック』教育開発研究所 (2019/9/1)

・リヒテルズ直子『手のひらの 5 円玉ー私がイエナプランと出会うまでー』ほんの木 (2020/10/21)

(5) AI 教育

・新井紀子『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』東洋経済新聞社 (2018/2/15)

・新井紀子『AI に負けない子どもを育てる』東洋経済新報社 (2019/9/19)

・波頭亮『AI と BI はいかに人間を変えるのか』幻冬舎 (2018/2/28)

・渡辺信一『AI に負けない「教育」』大修館 (2018/8/1)

(6) オンライン教育

・石戸奈々子編『日本のオンライン教育最前線ーアフターコロナの学びを考える』明石書店 (2020/10/1)

(7) 限界費用ゼロ社会の実現をめざして

・ジェレミー・リフキン (柴田裕之訳)『限界費用ゼロ社会ー<モノのインターネット>と共有型経済の台頭ー』NHK 出版 (2015/10/27)

・ジェレミー・リフキン (柴田裕之=伊藤陽子訳)『スマート・ジャパンへの提言ー日本は限界費用ゼロ社会へ備えよー』NHK 出版 (2018/4/25)

(8) 新しい経済理論 (現代貨幣理論)

・L・ランダル・レイ (中野 剛志=松尾 匡・解説, 島倉 原=鈴木 正徳・訳)『MMT 現代貨幣理論入門』東洋経済新報社 (2019/8/30)